

特

集

兵庫県内の児童等の 発育及び健康の状態について

～ 令和5年度学校保健統計 確定値概要 ～

健康診断の結果に基づき、毎年実施される学校保健統計の確定値（令和5年度分）が公表されました。

兵庫県内の学校における児童等の発育及び健康の状態が明らかになっています。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度～令和5年度は、学校園における健康診断の実施時期が当該年度末まで延長されています（通常は4～6月に実施）。

本調査の数値についても、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和2年度～令和4年度に引き続き令和元年度の数値と比較はできないことにご留意ください。

1 身長及び体重

～ 50年前と比べると増加しているが、10年前と比較すると横ばい ～

幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の最終学年（5歳、11歳、14歳、17歳）の身長及び体重について、50年前（昭和48年度）から10年ごとの推移を見ると、身長、体重ともに50年前と比べ、すべての年齢で増加していますが、10年ごとの伸びは徐々に鈍化しており、10年前（平成25年度）と比較すると横ばいになっています。

表1 身長・体重の推移

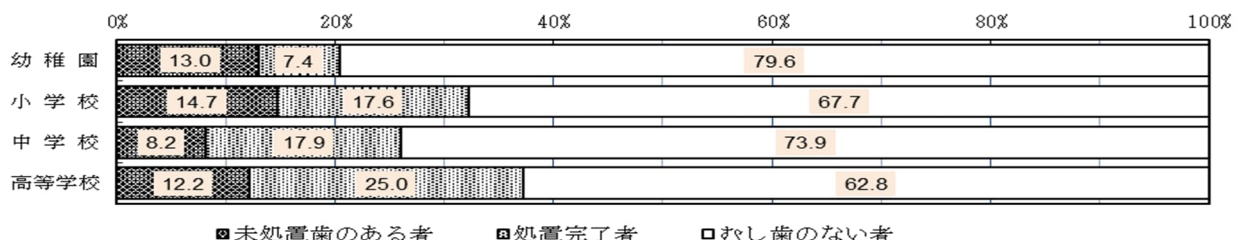
区分		昭和48年度		昭和58年度		平成5年度		平成15年度		平成25年度		令和5年度	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
身長 (cm)	5歳	109.7	109.0	110.5	109.4	110.9	109.9	110.6	110.0	110.7	109.3	111.1	110.3
	11	141.5	143.9	143.1	145.4	144.5	146.3	144.6	146.8	144.9	146.4	146.1	148.1
	14	161.9	155.2	163.6	156.3	164.7	156.8	165.3	156.8	164.7	156.9	165.8	156.4
	17	169.2	156.5	170.5	157.8	170.9	158.2	170.7	158.0	170.3	157.9	170.7	157.9
体重 (kg)	5歳	18.5	18.2	19.0	18.4	19.3	18.9	18.9	18.7	18.9	18.3	19.2	18.9
	11	35.1	36.3	36.3	37.4	38.0	39.1	38.9	39.2	37.9	38.3	38.9	39.9
	14	50.4	48.8	52.3	48.8	53.3	50.2	54.9	50.5	53.4	49.7	54.0	49.3
	17	59.2	52.0	61.6	52.1	62.7	54.0	63.2	53.6	62.1	52.9	61.2	52.2

2 むし歯

～ 平成6年～7年度以降は、むし歯のある者の割合が減少傾向 ～

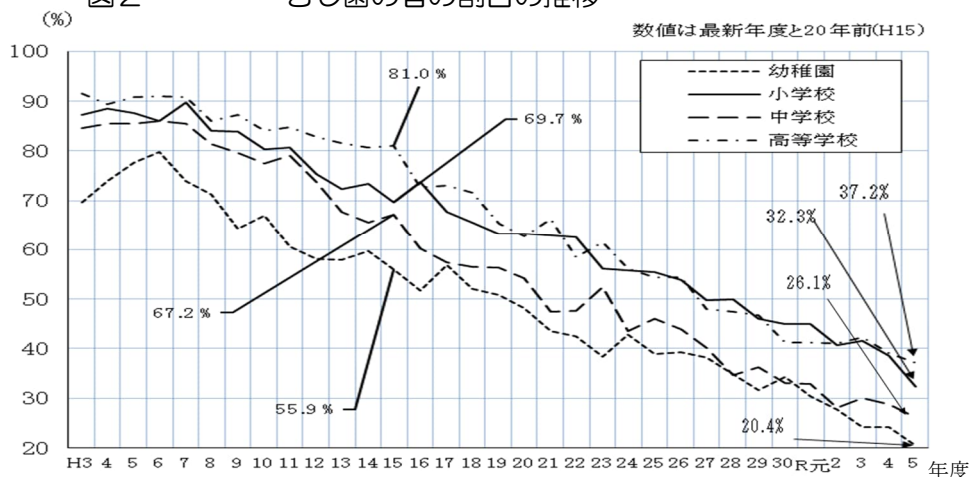
「むし歯」のある者の割合（処置完了者を含む。）は、幼稚園20.4%、小学校32.3%、中学校26.1%、高等学校37.2%となっています。

図1 むし歯の状況



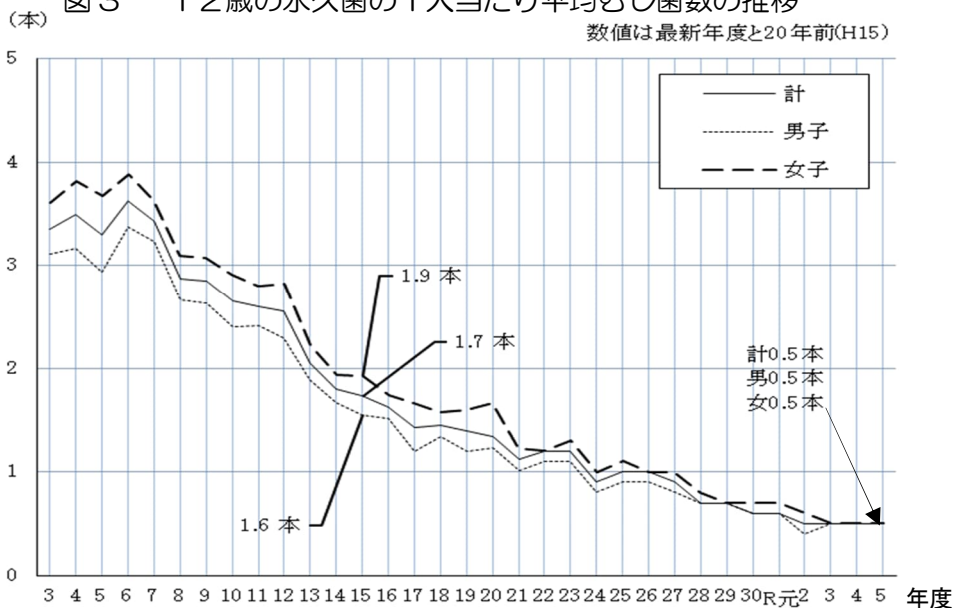
平成3年度には70%台～90%台の割合でむし歯のある者がいましたが、平成6～7年度以降は、どの学校種別においてもおおむね減少傾向にあります。

図2 むし歯の者の割合の推移



12歳の永久歯の一人当たりの平均むし歯数は、0.5本となっています。平成6年度（3.6本）以降は減少傾向にあります。

図3 12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯数の推移

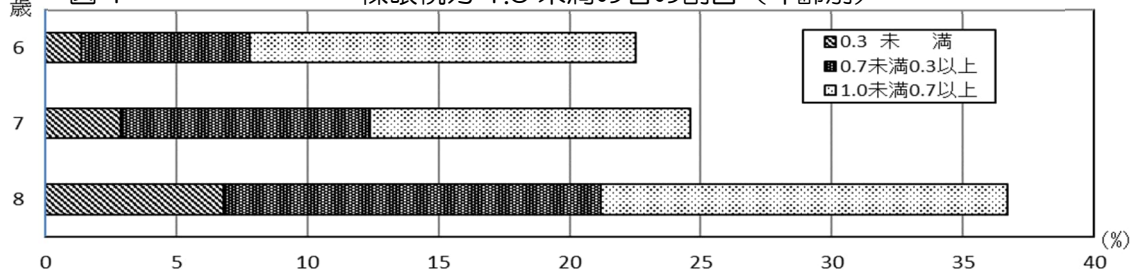


3 裸眼視力

～ 「裸眼視力 1.0未満の者」の割合は、年齢が上がるにつれて増加傾向 ～

「裸眼視力 1.0未満」の者の割合は、6歳 22.5%、7歳 24.6%、8歳 36.6%となっており、年齢が上がるにつれて高くなっています。

図4 裸眼視力 1.0未満の者の割合（年齢別）



(注) 裸眼視力については、視力を矯正している者(眼鏡等装着者)に対して、裸眼視力検査を省略した場合は、その学級全員(男女とも)を未受検者として取り扱うことから、他の項目に比べて受検者数が少なくなっています。
 なお、幼稚園については受検者数が50人未満、小学校、中学校、高等学校については受検者数が100人未満の年度は統計数値を公表しておりません。

4 アトピー性皮膚炎

～「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、10年前と比較すると幼稚園・小学校は減少し、中学校は増加、高等学校は増減なし～

「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園1.1%、小学校2.8%、中学校3.0%、高等学校2.0%となっており、10年前(平成25年度)と比較すると、幼稚園は1.3ポイント減、小学校は0.6ポイント減、中学校は0.4ポイント増、高等学校は増減ありません。

表2 アトピー性皮膚炎被患率 (単位：%)

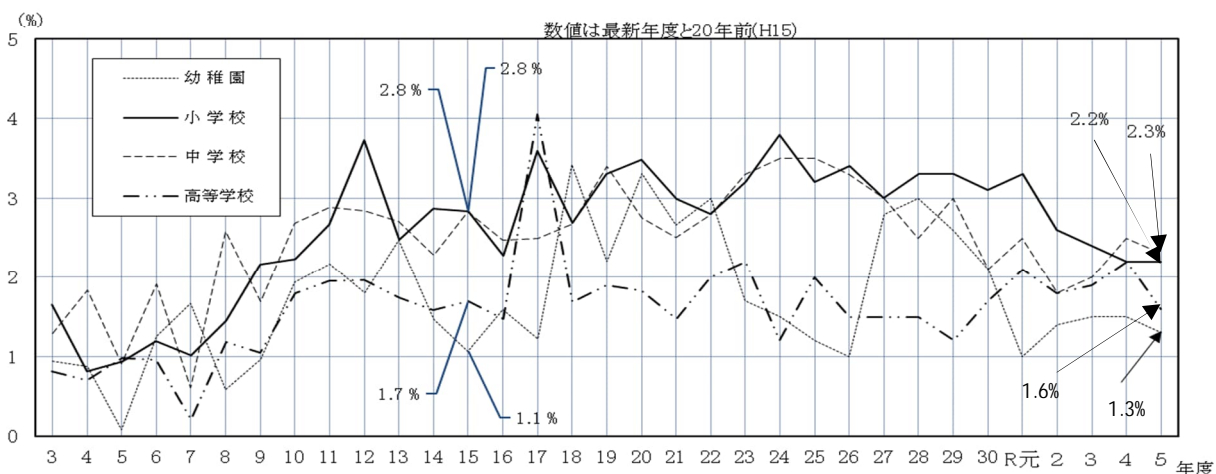
	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
平成 18 年度	5.6	3.5	2.5	3.2
" 19 "	2.7	2.9	3.4	2.7
" 20 "	4.4	3.3	2.5	2.0
" 21 "	3.5	3.3	2.5	2.6
" 22 "	3.4	3.1	2.6	2.3
" 23 "	3.4	3.0	2.6	2.5
" 24 "	3.1	3.0	2.6	2.0
" 25 "	2.4	3.4	2.6	2.0
" 26 "	2.8	2.7	2.1	1.8
" 27 "	2.9	2.6	2.3	2.2
" 28 "	1.9	2.6	2.5	2.4
" 29 "	2.6	2.9	2.6	2.0
" 30 "	2.4	2.6	1.6	2.4
令和 元 年度	2.7	2.7	2.7	2.2
" 2 "	2.3	2.0	1.7	2.4
" 3 "	1.8	2.3	2.0	2.5
" 4 "	1.7	2.2	2.6	2.3
" 5 "	1.1	2.8	3.0	2.0

5 ぜん息

～「ぜん息」の者の割合は、それぞれの学校段階で1～2%台～

「ぜん息」の者の割合は、幼稚園1.3%、小学校2.2%、中学校2.3%、高等学校1.6%となっています。

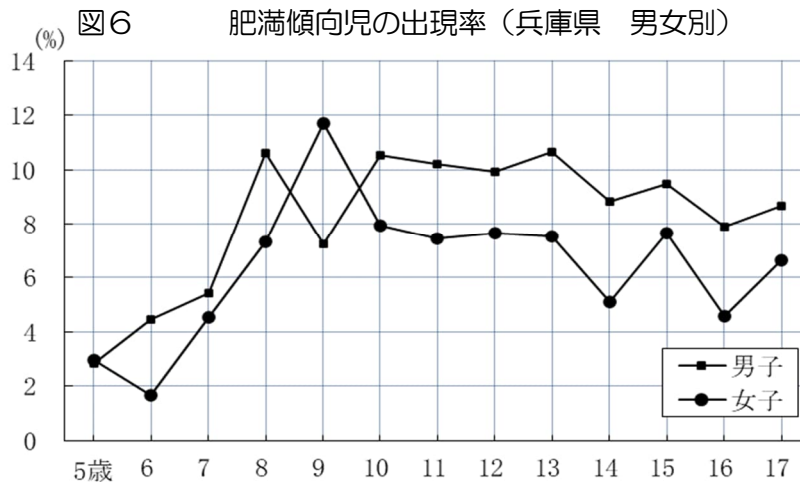
図5 ぜん息被患率の推移



6 肥満傾向

～ すべての年齢で、肥満傾向児の出現率が全国平均を下回る ～

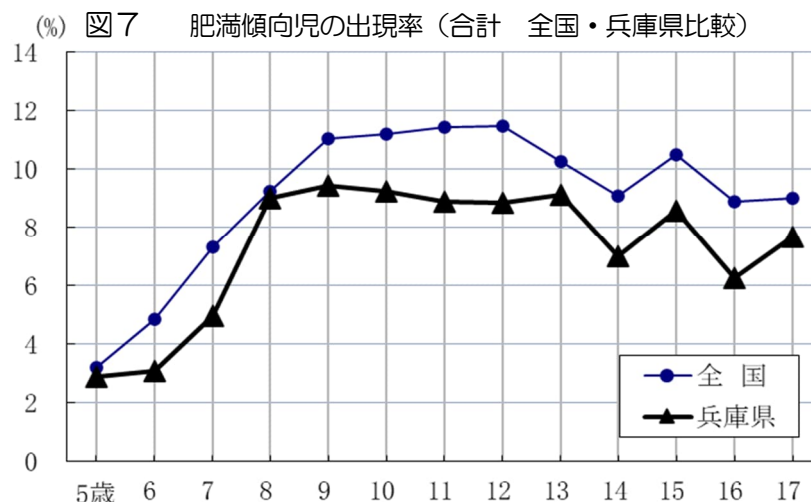
肥満傾向児の出現率は、男子は13歳の10.65%、女子は9歳の11.72%が、最も高くなっています。



(注) 「肥満傾向児」とは、性別・年齢別・身長別標準体重から求めた以下の肥満度が、20%以上の者をいいます。

$$\text{肥満度} = \frac{\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}}{\text{身長別標準体重}} \times 100(\%)$$

男女合わせた全国との出現率と比較すると、すべての年齢で全国値を下回っています。全国値との差が最も大きいのは12歳で、全国11.47%に対し8.83%と、2.64ポイント下回っています。差が最も小さいのは8歳で、全国9.24%に対し9.02%と、0.22ポイント下回っています。



統計表（時系列表）は、兵庫県ホームページ https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/cate3_720.html でも提供しておりますので、ご利用ください。

兵庫県学校保健統計調査

検索